

3.11 後を生きる

除 染

くにさだ きみ



1932年、岡山県生れ。詩集に『ミッドウエーのラブホテル』『壁の日録』『国家の成分』。詩誌「ミモザ」「径」「飛揚」所属。同県総社市在住。

ひとつぶの水が もしもわたしに造れたら。
ひと息だけでいいから

もしもわたしに 生まれたての空気がつくれたら。

ほんの ひとつぶだけ——

たったの 一息にすぎないのだけれど——

フクシマに また

いきものの住める透明な

水と

空気が甦よみがえる気がする。

涙ハ ドウシテ水ニ戻ルト書クノデシヨウカ。

政府も（東電も）

「除染します」というけれど あれはウソ。

たとえ校庭中をブルドーザーで削っても

校舎の窓や屋根……

雨樋あまどいに ホースで水をぶっかけても

（仮に 地球全体をひとかわ剥むいても）

減らすことも

除くことも出来ないのが 放射能汚染です。

フクシマノ ヒトビトハ

涙モ コボセナイデ 泣イテイマス。

答えて下さい。

ブラウン管のむこう側で
軽々と

「除染」を言ってるのける

あなたよ——

ナゼ波ハ 水ノ皮ト書クノデシヨウカ。

海ハナゼ 水ノ毎ト書クノデシヨウカ。

ドウイウ訳デ

泣ク トイウ字ハ

水ガ立ツト書クノデシヨウカ。

染マルトイウ字ニモ

水ノアルノハ 悲シイコトデス。

（「脱原発・自然エネルギー28人詩集」より）

昭和五十五年刊の私の『広辞苑』には「除

染」といつコトバがありませぬ。「除雪」は

あるのに……

「除雪」の項には「積雪を除去する。ゆ

きかき」と書かれています。被災地の「除

染」の映像はゆきかきと違い、ブルドーザー

で削った表土が、シートで隠されて、解けた

ア シ タ ノ コ ト バ

